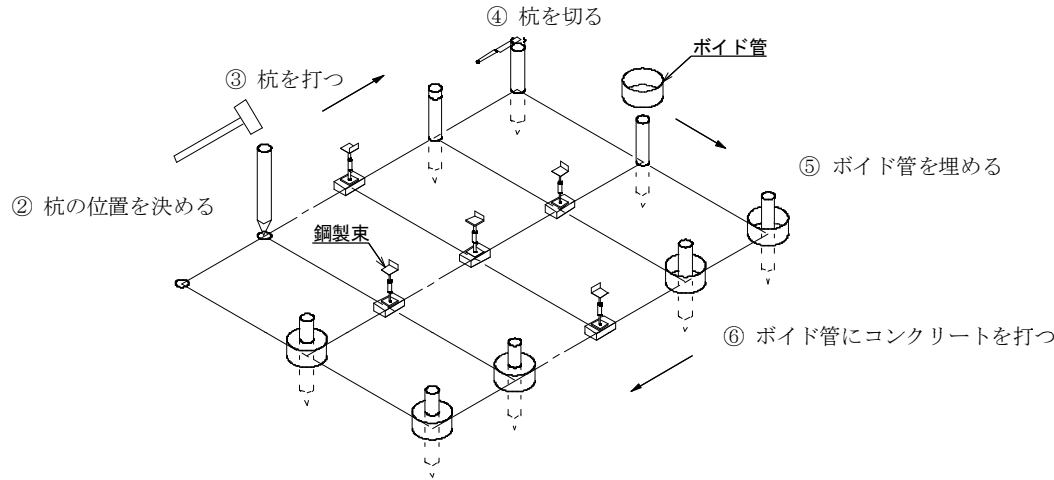


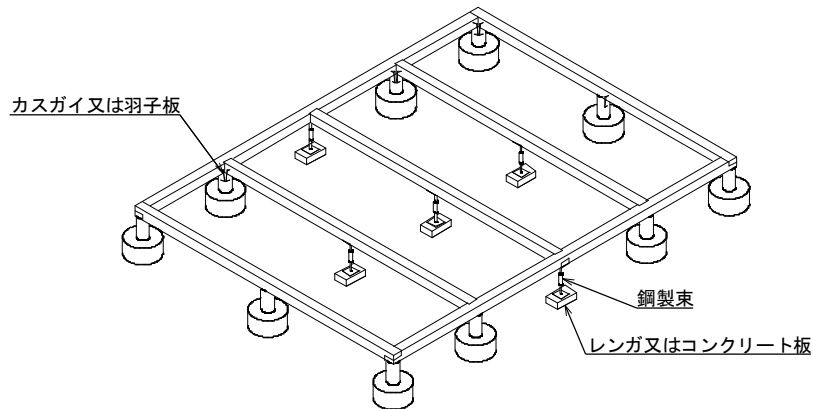
1、杭基礎を施工する。

- ① 建物の位置を決めます。
- ② 杭を打つ場所を、施工図を見て地面に位置決めします。
- ③ 杭を打つ。
- ④ 基礎の高さを決めて、全ての杭が水平になるようにけがきを入れ、鋸で切る。
トランシットを使用するか、無ければ、水道ホースに水を入れて水平を取ります。
- ⑤ 杭の周りを5cmほどの深さに掘り、ボイド管を埋める。
- ⑥ ボイド管の中にコンクリートを打つ。



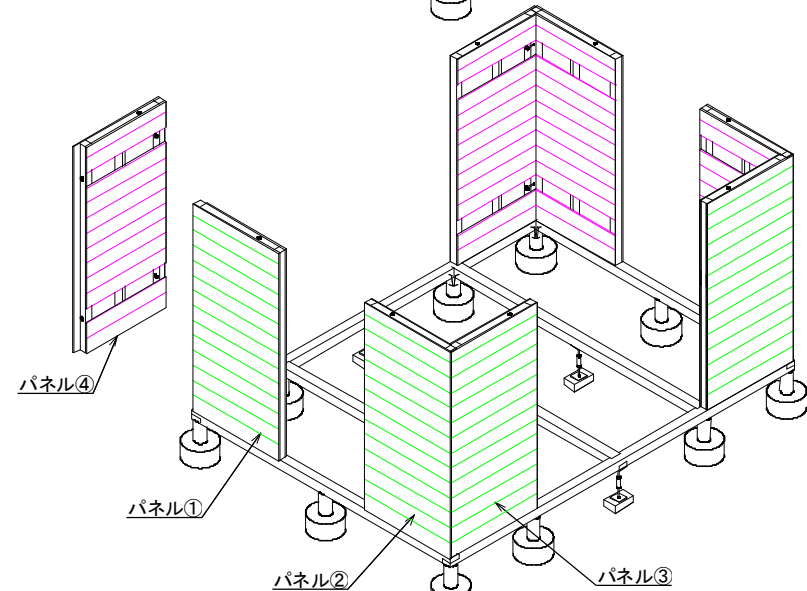
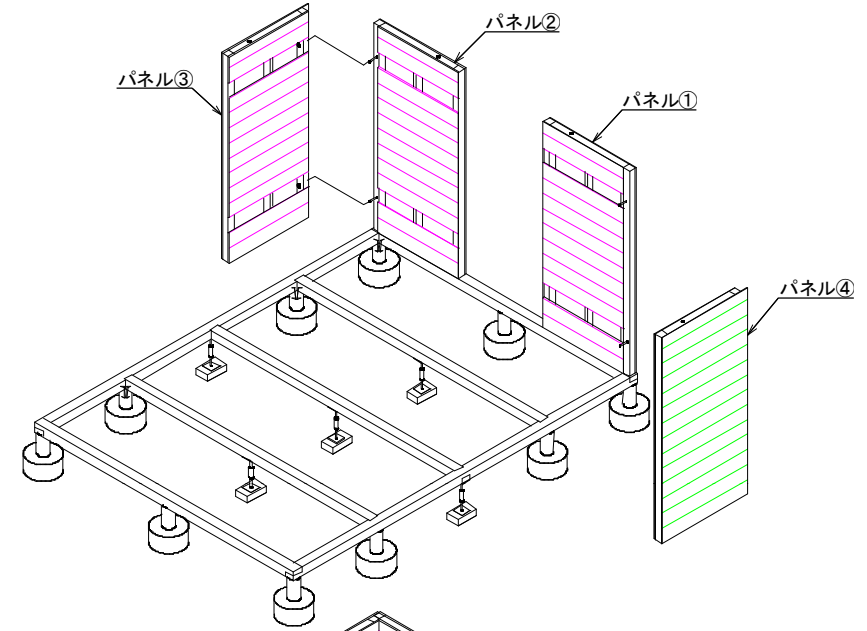
2、土台を基礎に取付ける (基礎、土台施工図を参照)

- ① 土台を杭の上に並べて、組み立てて、コーススレッドで固定する。
- ② カスガイ又は羽子板で、土台と杭を固定する。
- ③ 鋼製束を、設置する。(レンガ又はコンクリート板をご用意ください。)

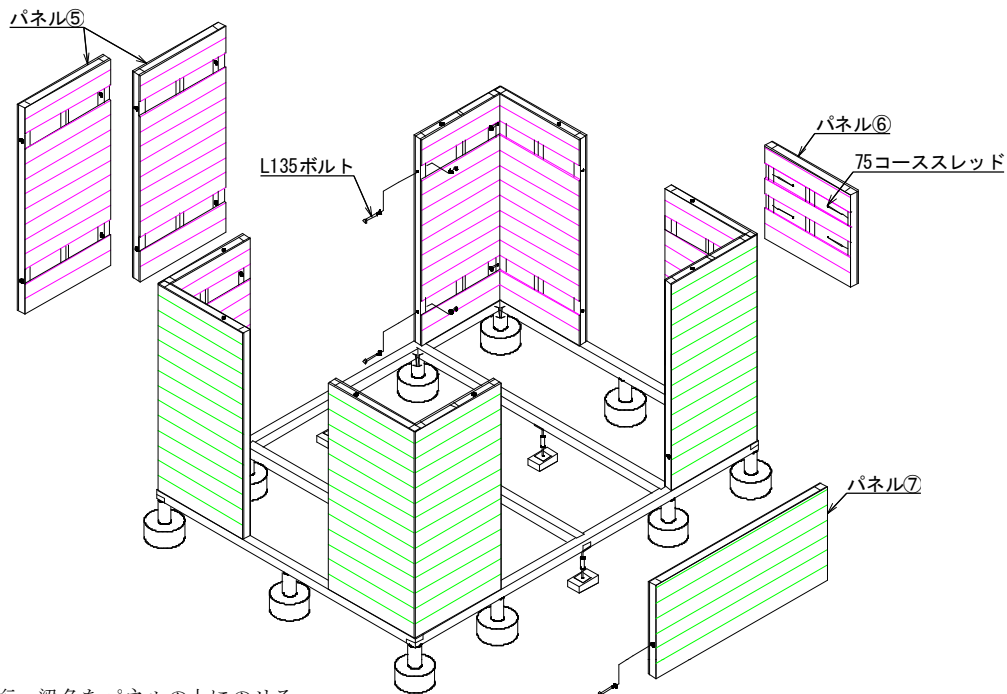


3、壁パネルを土台にのせる。

- ① パネル①から仮止めの羽目板を外し、番付けに注意して土台にのせる。
- ② パネル④から仮止めの羽目板を外し、パネル①のボルトを差し込みながら土台にのせる。
- ③ 丸座金とナットで、パネル①とパネル④を仮止める。
- ④ 同様にして、パネル②とパネル③を土台にのせ、丸座金とナットで仮止める。
- ⑤ 同じようにして、反対側のコーナーのパネルも組立てる。

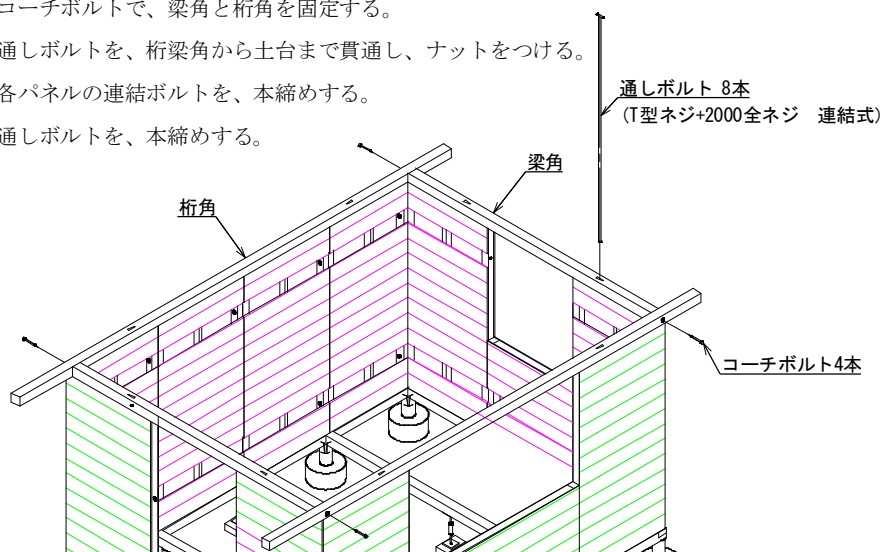


⑥ 残りのパネルを全て土台にのせ、隣同士のパネルをL135ボルトで連結する。



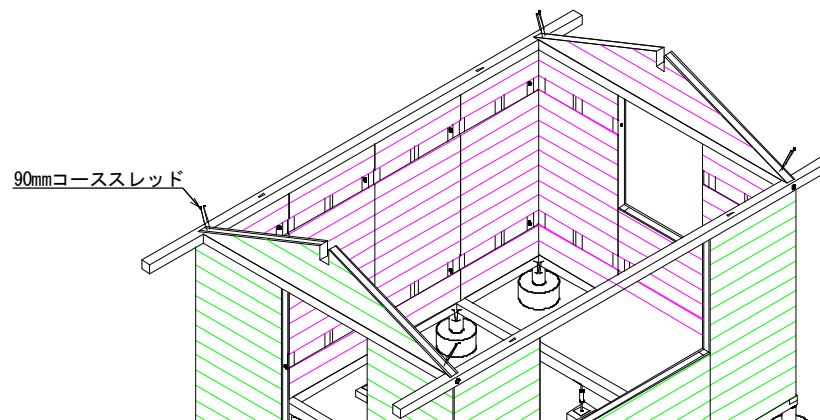
4、桁、梁角をパネルの上へのせる。

- ① 桁角を番付に合わせて壁の上へのせる。
- ② 梁角を桁角の欠き込みに差し込みながら、壁の上へのせる。
- ③ コーチボルトで、梁角と桁角を固定する。
- ④ 通しボルトを、桁梁角から土台まで貫通し、ナットをつける。
- ⑤ 各パネルの連結ボルトを、本締めする。
- ⑥ 通しボルトを、本締めする。



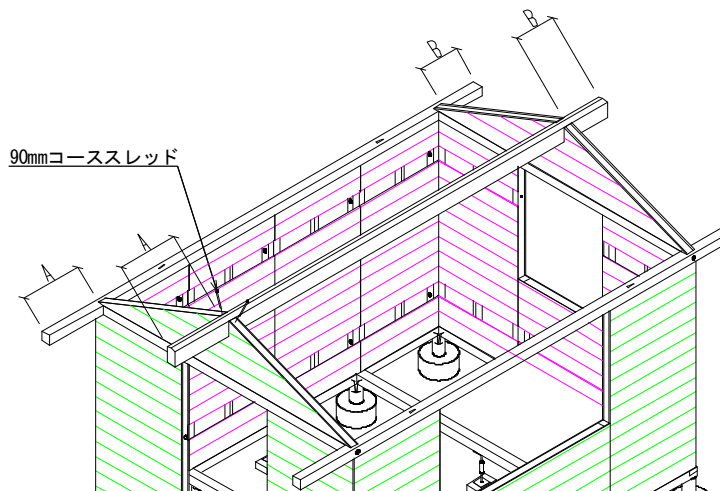
5、妻壁パネルをのせる。

- ① 妻壁パネルを梁角の上に位置決めしてのせる。
- ② 妻壁パネルの両端を、90mmコーススレッド2本ずつで、梁角に固定する。



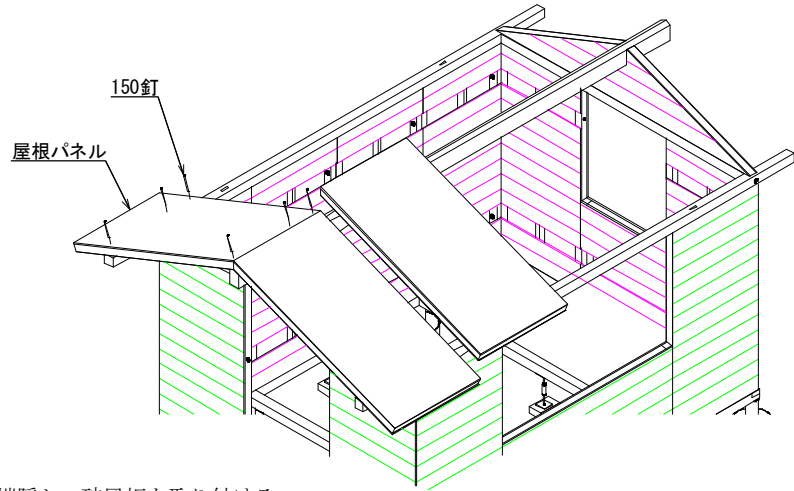
6、棟木をのせる。

- ① 棟木を、壁パネルの切り欠きの中に位置決めしてのせる。
- ② 妻壁パネルの芯から棟木の端部の距離が、桁角と同じ寸法になるように調整する。
- ③ 90mmコーススレッド2本で、棟木と妻壁パネルを固定する。



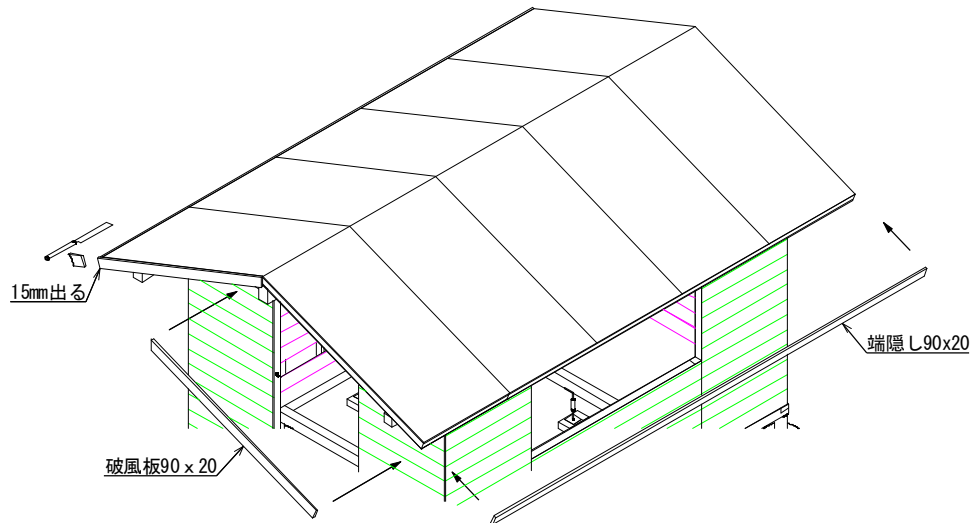
7、屋根パネルをのせる。

- ① 屋根パネルを棟木と桁角の上に、位置決めしてのせる。
- ② 90コーススレッドで仮止めしながら、全て並べて見る。
- ③ 棟木、桁角両端との相対位置、棟の拝みの位置が均等になるよう調整し、150釘で本留めする。



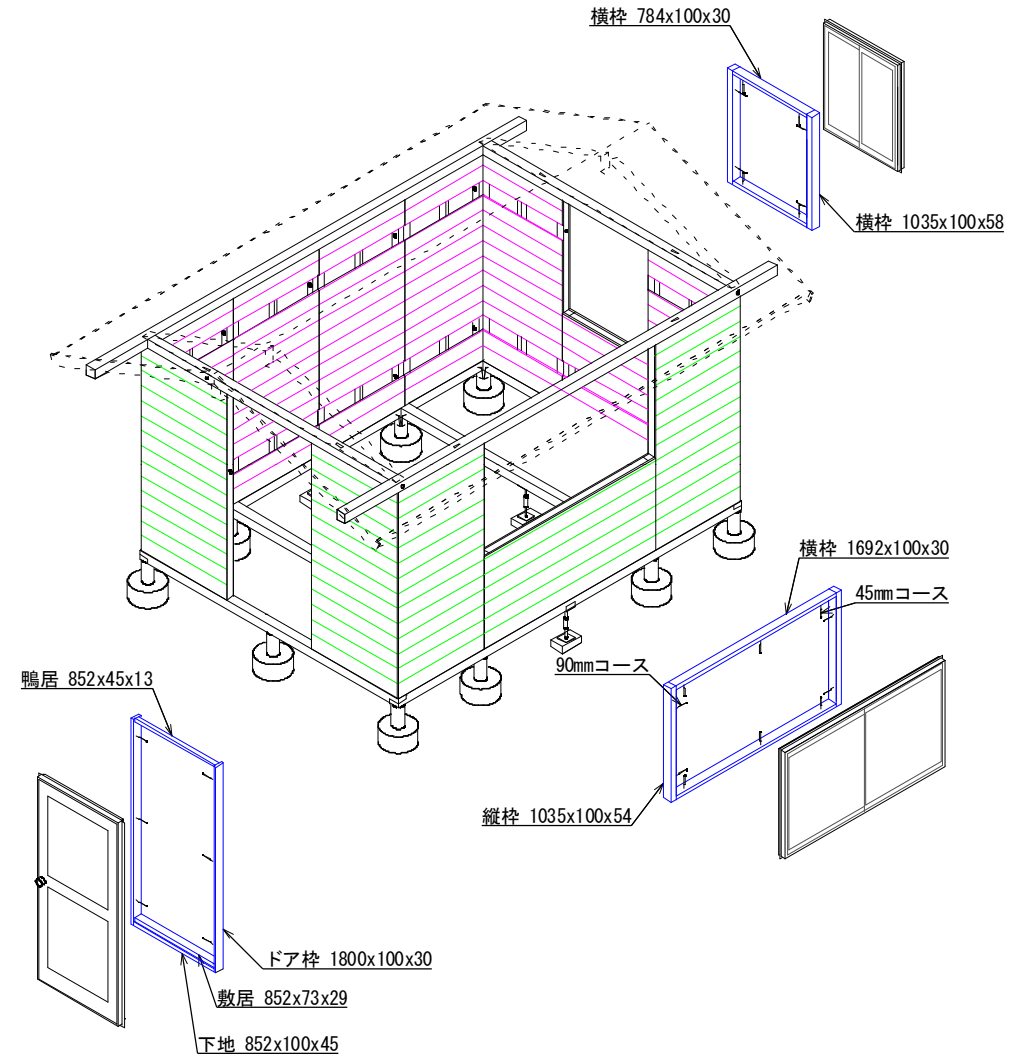
8、端隠し、破風板を取り付ける。

- ① 端隠しを、屋根パネルの軒先に、屋根面と平になるように長いまま、57mmコーススレッドで取り付ける。
- ② 端隠しの両端を、けらばの垂木面にそろえて切る。
- ③ 破風板を、ケラバに屋根面と平になるように、長いまま取り付ける。
- ④ 破風板を、端隠し面より15mm出る位置で切る。



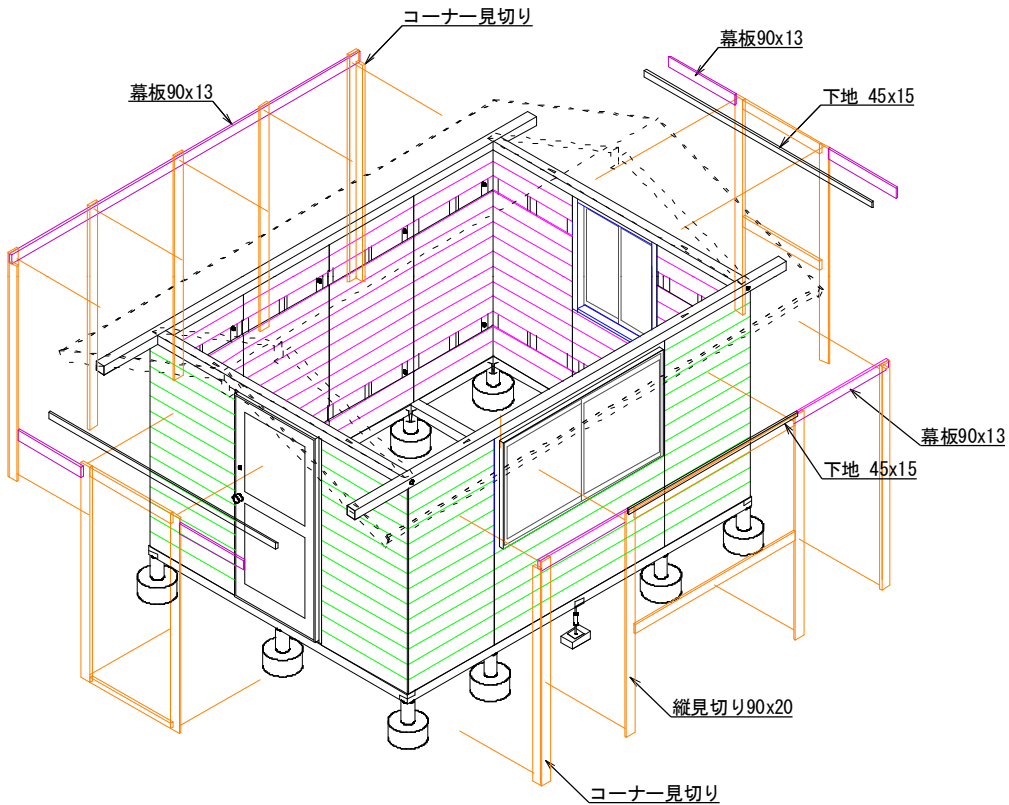
9、建具枠、アルミサッシを取り付ける。

- ① 縦枠を、壁パネルの外壁面に合わせて、コーススレッドで取り付ける。
- ② 下枠を壁パネルに、上枠を桁梁角に、それぞれ縦枠に合わせて取り付ける。上枠、下枠が緩い場合は、通しボルトを緩めて、パネルを左右から寄せる。
- ③ アルミサッシを、アルミサッシ付属の説明書に従って、建具枠に取り付ける。
- ④ 障子をはめ、動作を確認する。



10、外部見切りを取り付ける。(外部仕上げ図を参照して作業してください。)

- ① 桁の幕板 90x13を、取り付ける。
- ② コーナー見切りを、90x20と70x20を組合わせて、4か所分を組み立てる。
- ③ コーナー見切りを、取り付ける。
- ④ 梁角見切りの下地 45x15を、取り付ける。
- ⑤ 出入口と窓の縦見切りを、取り付ける。
- ⑥ 出入口、窓の横見切りを、縦見切りの間隔に合わせて切断し、取り付ける。
- ⑦ 梁角の幕板を、長さに切って取り付ける。



11、床組の施工 (床、ドア部の施工図を参照)

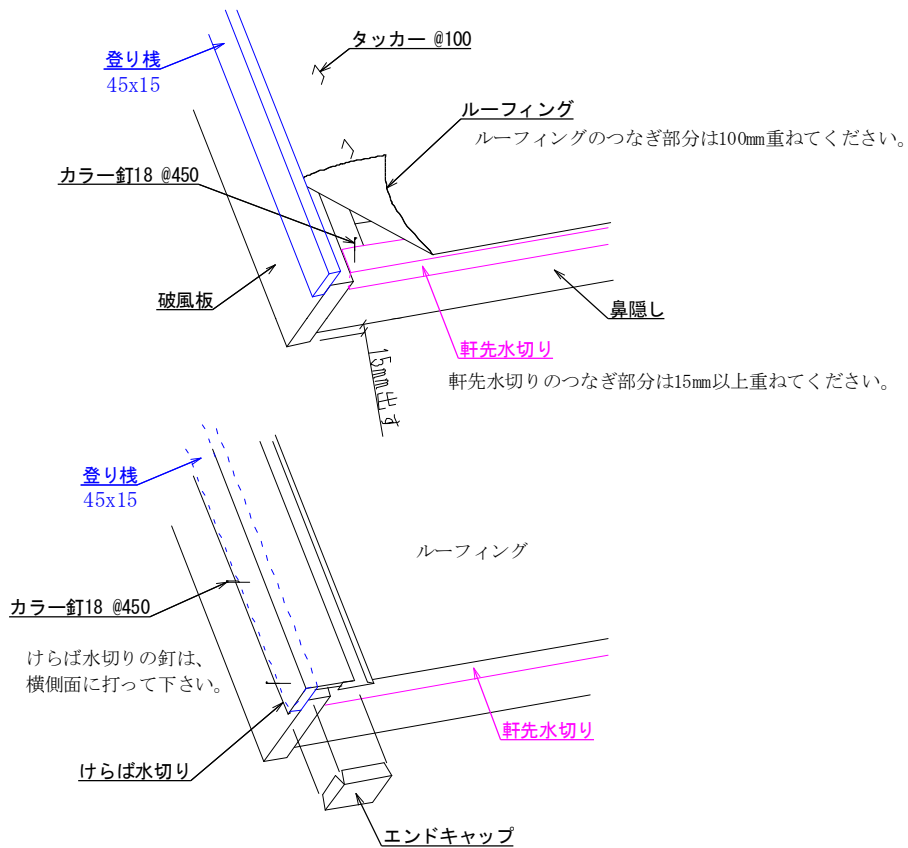
- ① 根太掛け 60x30を、土台側面に大引 90x90と同じ高さに取り付ける。
- ② 根太 45x45を、303ピッチで土台上面に並べ、90mmコーススレッドで取り付ける。303ピッチを守らないと、合板が打てなくなりますので、気をつけてください。
- ③ スタイロフォームを根太の間の寸法にカットし、はめ込む。
- ④ 床合板を垂木中心でつなぐよう寸法に注意して切断し、並べる。
- ⑤ 床合板を、45mmコーススレッドで、150mmピッチで固定する。
- ⑥ 床仕上げ材を施工する。(仕上げ材の厚さによっては、出入口ロサッシの高さを上げる。)

12、 内部見切りの取付け (内部仕上げ図を参照して作業してください。)

- ① 3章で外した仮止め羽目板を、長さを確認しながら各パネルに取り付ける。
- ② 羽目板を、25mmビス3本にて固定する。
- ③ 縦見切り40x13 7本を、壁の高さに現合で合わせて切る。
- ④ 縦見切りを、壁のつなぎ目を隠すように、25mmビス3本にて固定する。

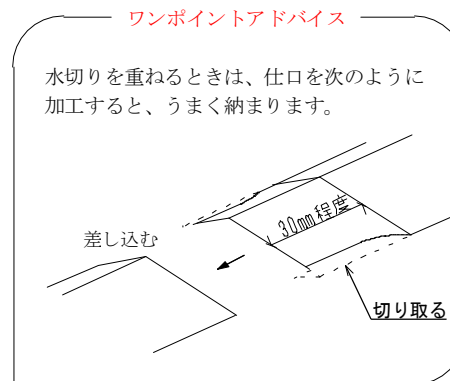
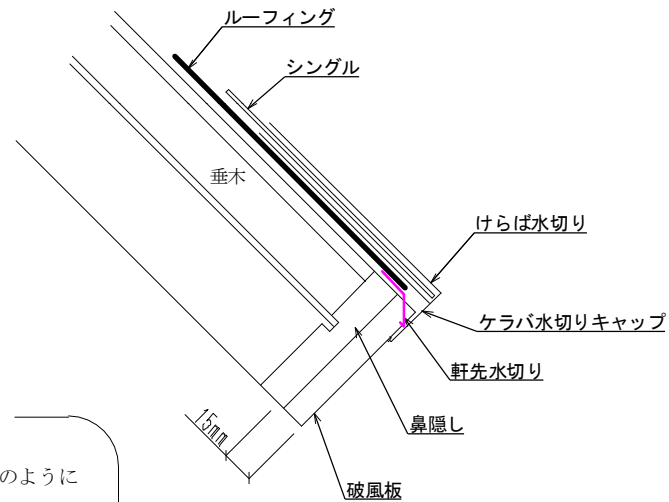
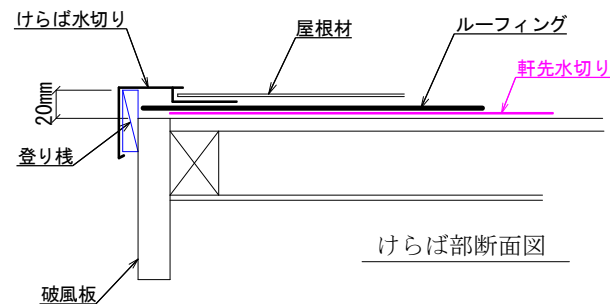
次の順番に施工していきます。

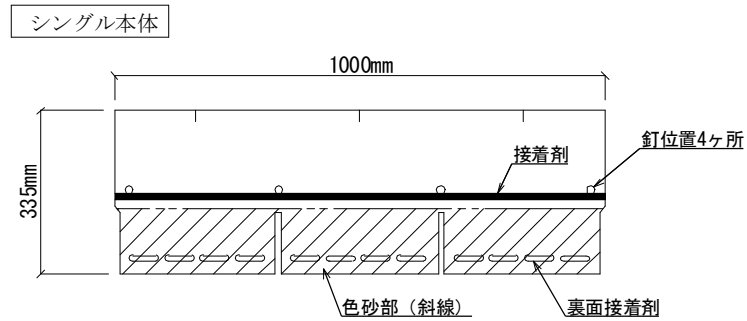
- 1、軒先水切り（カラー鉄板）を取付けます。
- 2、ルーフィングを貼ります。
- 3、登り棧45 x 15を取り付けて、けらば水切り（カラー鉄板）をつけます。



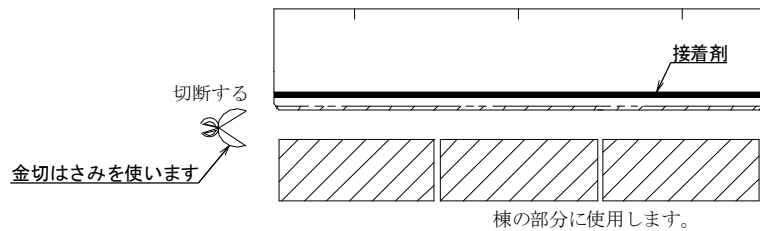
けらば水切りのつなぎ部分は30mm以上重ねてください。
上位の水切りを、下位の水切りに乗せて重ねてください。

水切りとルーフィングの重ねる順番に気をつけてください。
(ルーフィングの上に、軒先水切りをのせないで下さい。)





1、スターターを作る



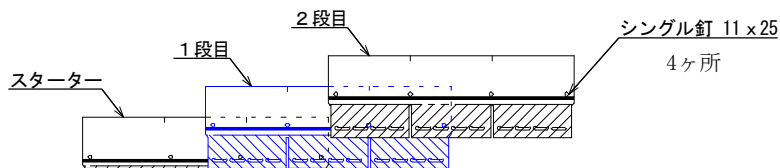
2、シングルを貼る

シングルは、釘で野地板に固定されると同時に、シングルの接着材が太陽熱で溶ける事によって互いに接着されるようになっていきます。

したがって、必ず裏面の接着剤の保護フィルムを剥がしてから貼り付けます。

フィルムは、目打ち等の先端が鋭い物で引っ掻くと上手に剥がれます。

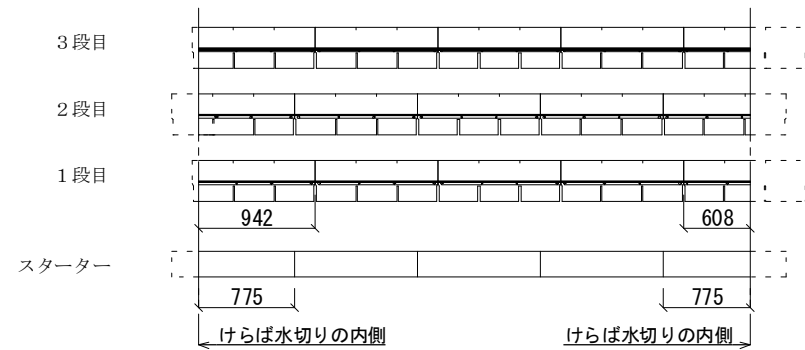
釘は、必ずシングル釘 11 x 25を使用してください。



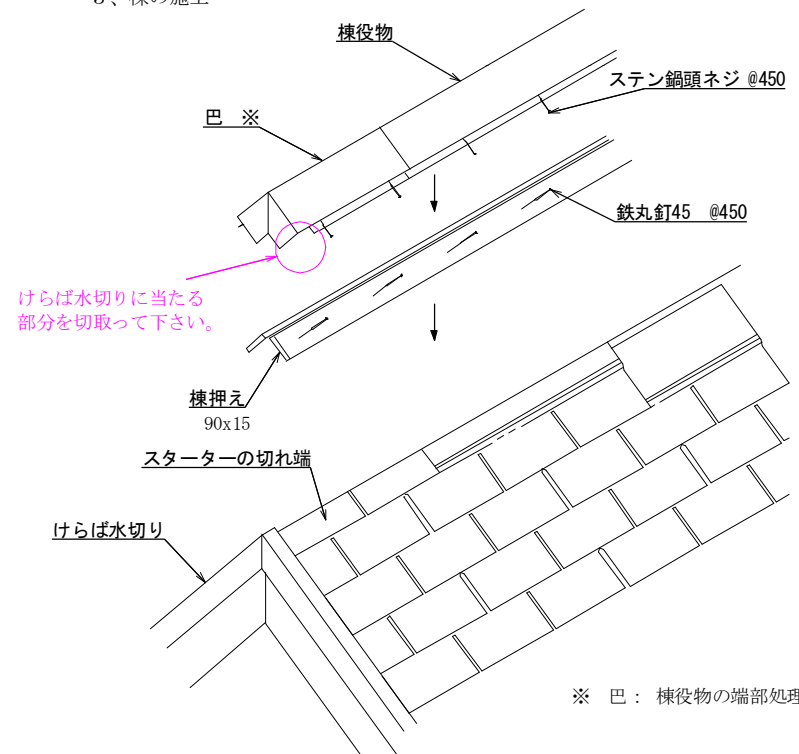
次の図のように、シングルの割付を決めてシングルを張っていきます。

色砂部が小さい切れ端にならぬよう、割付けに配慮します。

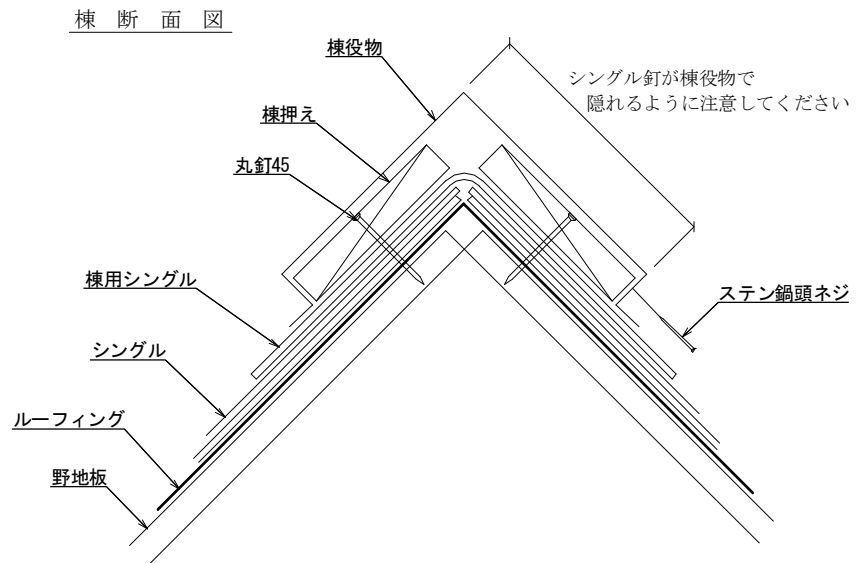
左右の短部のシングルを切断する前に、2段目までを並べてみるのが最も確実です。



3、棟の施工



※ 巴： 棟役物の端部処理したもの



4、最終確認

施工が終了しましたら、次のことを確認します。

- 1、シングルに破損、めくれ等がないこと
- 2、釘が見えていないこと
- 3、板金がしっかり固定されていること（手で触って確認する）

OKでしたら、屋根工事は完了です。